



みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「**う**つくくまわりを **え**がおであいさつを **き**ちんとくつならべ」

令和4年度第26号
熊本市立植木小学校
令和4年10月26日
文責：校長清田浩文

自力で呼吸ができること・歩けることに感謝を！

10月23日（日）、熊本県人権教育研究大会に参加してきました。分科会で、馬料理「天國」料理長の前田強さんの「新型コロナウイルス感染症に罹患して」の講話を聴きました。コロナに感染され、死を覚悟したり、退院後に風評被害に悩まされたりした経験をお話してくださいました。心に残った言葉を以下に列挙します。

- ◇ 「入院直後から酸素吸入が必要になり、人工呼吸器を2週間装着しました。高熱と息苦しさと何度も死を覚悟しました。人工呼吸器を外していいようになってからリハビリが始まるのですが、最初はすわることさえできませんでした。それほど筋力が低下していました。」
- ◇ 「退院まで45日間かかりました。入院する際に助かる可能性は50%と言われました。80代の母も入院しましたが、高齢のため、助かる可能性は1%程度だと言われました。」
- ◇ 「母も、自分も、無事に退院することができました。命を失わずに済んだのは、『体力があったからだ』と言われました。自分も母も、毎日忙しく動き回っていて、体力があったことが大きいと言われました。体力がある人は、病気に負けない免疫力もあるということです。母は仕事のときも買い物に行くときも、いつも歩いています。普段からよく歩いていたことが良かったのだと思います。日頃から疲れをためないこと、免疫力を高めていくことが大切です。」
- ◇ 「店名を公表したため、ひっきりなしに電話がかかってきました。手紙もたくさん届きました。誹謗中傷もありましたが、8割が励ましの内容でした。私たちは言葉によって傷つきますが、言葉によって救われるのです。励ましの言葉はどんな薬よりも効きます。」
- ◇ 「もしも、自分や家族が感染したら・・・ということを常に考えておくことが大切です。」
- ◇ 「悪いのは、感染した人ではなく、ウイルスです。」
- ◇ 「退院後、当たり前前の生活の大切さを実感しています。今ある幸せに感謝、今日も生きていることに感謝です。自力で呼吸できること歩けることに感謝です。家族にも『ありがとう』と言うようになりました。」
- ◇ 「正しく恐れて、正しく行動すること。お互いのために感染予防を！」

学校教育目標

気づき・考え・実行する、自立と共生の力を備えた子どもの育成
～出会いと出番と対話のある学校を目指して～